



教育目標：よりよい未来を創り出そうとする児童の育成

～なりたい自分・仲間・学校になるためにチャレンジ～

令和7年2月26日

# 東陵小だより

発行者 校長 深澤 弘美

## 6年生を送る会(2月20日)



「6年生を送る会」は、3学期の大きな行事の一つです。6年生にとっては、卒業への自覚を高める機会になります。5年生にとっては、学校の次のリーダーとしての自覚をもち、企画力・実行力などを身につける場です。そして、1～4年生にとっては、表現活動を通して6年生への感謝の思いを伝える大事な取組です。スローガンの通り、6年生の心に響き感動あふれる会になりました。大変寒い日になりましたが、ご参観くださった保護者の皆様、ありがとうございました。

### 5年生

この会を企画・運営してくれた5年生。パフォーマンスの一つ一つがどれも楽しくて、会を大いに盛り上げました。テキパキと動くその姿から、東陵小の次のリーダーとして6年生からのバトンをしっかり引き継ごうとする自覚が見えた5年生でした。



### 1年生

1年生は、6年生が大好き。お世話してくれた6年生に楽しんでもらおうと楽しい劇を披露。最後のランドセルパフォーマンスは、会場から拍手喝采でした。



## 2年生

2年生は、一年間勉強してきたことを次々と披露しました。6年生は、発表を見ながら苦勞して覚えた九九や漢字のことを思い出していたようです。



## 3年生

手話で「ありがとうの花」を、替え歌とダンスで「ジングスカン」を発表しました。テンポよく楽しそうに踊るジングスカンに、会場の手拍子も大きくなりました。



## 4年生

笑いの中にも保健の知識を盛り込んだ劇を披露。元気があふれる4年生ならではの、楽しいステージでした。



## 6年生

下級生だけでなく能登半島地震で被災した輪島の小学校の仲間にも「忘れないよ」という思いを歌とダンスに込めて発表しました。下級生に優しくしてくれた6年生、すべきことをしっかりとやり遂げる6年生の姿が5年生以下の子どもの心に残った発表でした。

